

時事新報

の漢文を解したる程の度合に進むんとお望ひものなり然るに我が政府にては近年來英文教授の區域を廣めて漸く高等小學よりはさんとするの進路を取るものゝ係る英字新聞紙購読の區域を廣むるは勿論、日本人自身より英字新聞紙を發行して之を他の英語國人に送るの數も大に増加するふとあらん果して然らん其時には日英兩國の間に於て彼我新聞紙を交換するの道を開き兩國新聞上の聯絡氣脈を (Journalistic Connection) 貫通する所至るふと固より疑を容れざるあり

諸君も既に知らるゝ如く我國にては來千八百九十年を以て帝國議會の第一會を開くの都合にしていよ／＼議會開場の上は我が重も立ちたる新聞各社所謂 Gallery Reporter (議院傍聴筆記者を云々) を議院より手廻りよく其筆記を紙上に掲載するの必要を感ずるなるべく今日日本に通用する短記法の仕組の如きも亦大に改良を要するの事情に會するあるべく此等の先例便法より開しては諸君の既より實驗工風したる所より因りて大に利益する所ある可しと思はるゝあり

然りと雖ども我々は他人の先例を借用し勞せずして自から利して自から得たるもの非自から利せんとすると同時に人を利せんとする實に我々の本懷よりて我々の希望は今後日英兩國の國交際商賣若くは學問等をして特に其相互利益の關係を發達せしめんとするに在るあり相互利益の關係なくして真成の友誼交情を希望するなり勿論今日の處にても日英兩國相互利益の保續す可しとは我々の信せざる所として我々は諸君が今日日英の國交際上に於て最も意を此に致せんことを希望するなり勿論今日の處にても日英兩國相互利益の關係を増し來りたるの兆ありと申すは我國にて多年政治より學問より近時文明的の發明工風に利益を英國に受け採用するもの頗る多きに至りたる事あり斯くて我が美術上の取る可き所は遠慮なく之を英國より適用せよ又新聞事業等より是きて英國より所長職あらば我々は追て之を採用するとぞ憚らず斯くの如くとして日英兩國がます／＼其相互利益の關係を増加するは我々日本人の大に満足する所なり

本の二圓六十錢乃至三圓（相當す）にして今日の勢新聞用として自在に之を利用（りよう）するに由（ゆ）多く僕々一二の新聞社が簡單なるルイトル電信に接するゝ過ぎざるは我々の殊（こと）々遺憾（いがん）とする所あり  
扱て又爰（くわ）に諸君の注意（ちゆう）を乞（こ）はんとするは近年我日本國にて英文讀者英語學者の増加したる事即ち是れあり蓋し日本の言文は甚だ不完全あるが故（ゆゑ）より之を改良せざる可らざるは人の能く知る所にして其中或は改良ある云はず寧ろ英語を其儘（そのまま）に移植するに若かず云々の既あきに非ざれども凡（ま）る一國（こく）の言語を變（か）するの難（むず）しさは今改めて申すゝ及ばず之を試（こう）みて成功せざりし其實例（じごれい）からず彼のウヰリヤム勝王（しゆおう）に在り余は日本の獨立（こくりつ）する限り英語が日本語に代（か）へる可（べ）しと信（し）ふると能（の）はず又斯く信（し）ふるみどを好（す）まざる者あれども日本中以上の人民が廣く英文を解（わか）るのみ年來我が教育ある部分にて彼

○東京市會は前號にも已記載したる如く一昨十七日午後四時二十分より開會し當日よりは新撰の議員四名も出席したれば六十名の議員悉皆其顔を揃はせ殊に傍聴人も非常に詰掛け來りて忽ち滿員とあり場外よりて僅に立聞せるものも多き程なりし折騰長(楠本氏)は至急を要すれば先づ第一號より第三號までの議案を講定せんとを告げ右三議案に付順次に第一次會を開きたり乃ち同議案は左の如し

○第一號　區長及書記ノ給料額ヲ定ムル件  
市制第七十六條第四項ニ依リ區長及書記ノ給料額ヲ定ムルコト左ノ如シ

○第二號　書記ノ人員ヲ定ムル件  
特別市制第四條ニ依リ書記ノ人員ヲ定ムル件  
如シ「但シ事務ノ繁簡ニ從ヒ定員内ニ於テ等級ノ人員ヲ増減スルコトヲ得

○第三號　經濟ヲ異ニスル件  
市費ヲ以テ支辨スヘキ事業ノ中水道、公園、墓地ハ各別ニ經濟ヲ立テ而レテ其歲出入ノ差引殘金アルトキハ之ヲ準備金ニ充ツルモノトス

右の三議案とも二三の質問ありたるのみみて異議あく第一次會を通過したれば更に第一號の二次會を開きしが區長の給料額に就て諸説紛々として續出し其修正の意見も六說の多々至りしかど右の内成立しは山中隣之助氏の一級を千圓とし五級を五百圓とする事、渡邊洪基氏の千二百圓以下四百圓以上とし其等級を廢除する事、松南宏雅氏の千圓を最高額とし六百圓と最下額とし之を九級に區別して五十圓づゝの差額と爲す事の三說にて終に採決に至り山中、渡邊兩氏の修正說は孰れも少數の爲めに消滅し松南氏の修正に決定したり又書記の引續き前の三議案の第三次會を開きたるに第二號、第三號は異議あく直に確定し第一號に就ては區長の給料額に對し又々種々の修正說再現して隨分議論のわりたる末終ひ宇川盛三郎氏の一級を千圓とし毎級次第に百圓づゝを減じ五級を六百圓とするの修正說に確定する事に決し午後八時散會したり

○反對者あれば賛成者あり　岡山縣下の一問題たる彼の兒嶋灣開墾事件よ就ては沿岸の人民より岡山市民迄騒ぎ立て縣廳に出現して質問云々の事を請ふて止まずるより知事は關係の郡戸長に内訓を發え又面會を謝絶せし事の次第は此程よりの本紙上より連載し來りしが斯く世論の非開墾を唱へする其中又兒嶋郡宇藤木の人民六十餘名は開墾を賛成して縣知事には開墾賛成上申書一通を、藤田傳三郎氏には同事業賛成書一通を送り又妹尾村の漁夫百餘名も連署して開墾賛成の趣意書を縣知事より提出したる由にて今其賛成書及び趣意書なりと云ふを見るに左の如し

開墾事業賛成書

兒嶋灣開墾之義者當地方ノ一大問題ニシテ現ニ本村ノ如キハ該灣南岸ニ額シ村民舉々牡蠣波止ヲ築キ牡蠣ノ生育ヲ本務トシ其他漁業及農業雜業ヲ兼ナ生計相立居ルニ付最モ此開墾事業ニ實際ノ關係ヲ有スルヲ僅少ナフサルモノニ有之然ル處今般本縣告示第四十號ニ依リ貢組ニ於テ該起業ヲ負擔セラル、義ヲ承知致シ又貴組ヨリ發セラレタル該主意書ヲ詣聞シ其主意ノアム處ヲ了